

「郊外都市住民の地域生活に関する調査」報告

——東京都立川市におけるコミュニティの状況と住民意識——

Report on Survey of Community Life in A Suburban City:

— Community Situation and People Consciousness in Tachikawa, Tokyo —

山本薫子¹⁾・饗庭伸²⁾・若林芳樹³⁾・松本真澄⁴⁾・坪本裕之⁵⁾・門脇耕三⁶⁾

Kahoruko YAMAMOTO¹⁾, Shin AIBA²⁾, Yoshiki WAKABAYASHI³⁾, Masumi MATSUMOTO⁴⁾,
Hiroyuki TSUBOMOTO⁵⁾, Kozo KADOWAKI⁶⁾

要 約

立川市曙町地区・高松町地区の一部について2010年に実施した郵送調査の結果のうち、本稿では(1)住民構成と居住状況、(2)定住意識、(3)地域社会との関わり、(4)定住層の状況、(5)新規居住者の状況について分析を行った。その結果、以下の点が確認された。

- (1) 市内他地域と比較すると持ち家率が高く、持ち家を購入してこの地域に居住する家族世帯(核家族)が多い。
- (2) 地域活動、住民間の交流は特に活発ではないが、利便性に対する評価は高く、定住志向は強い。
- (3) 居住歴5年未満の住民は6割近くが20歳代・30歳代で、45%が民間賃貸住宅に居住しており、転居の可能性のある流動層と位置づけられる。

キーワード： 郊外都市、地域生活、コミュニティ、住民意識、住民調査、立川市

Abstract

The data of this article is based on the survey of community life in a suburban city, conducted in Tachikawa, Tokyo. As a result we found three issues below;

- (1) Comparing to other areas of Tachikawa, more residents live in owner occupied houses.
- (2) Community activities and communication among the residents are not much popular but resident intention to stay live in is high.
- (3) Among the residents who live less than 5 years, 60% are in their 20's and 30's and 45% live in rented accommodation, and those people are likely to move.

Key Words : Suburban City, Community Life, Community, People Consciousness, Residents Survey, Tachikawa

1) 首都大学東京都市環境科学研究科都市システム科学域・准教授 Tokyo Metropolitan University
 2) 首都大学東京都市環境科学研究科都市システム科学域・准教授 Tokyo Metropolitan University
 3) 首都大学東京都市環境科学研究科地理環境科学域・教授 Tokyo Metropolitan University
 4) 首都大学東京都市環境科学研究科建築学域・助教 Tokyo Metropolitan University
 5) 首都大学東京都市環境科学研究科地理環境科学域・助教 Tokyo Metropolitan University
 6) 首都大学東京都市環境科学研究科建築学域・助教授 Tokyo Metropolitan University

1. はじめに

本稿では、2010 年度前期から都市環境科学研究科で開講した「都市環境科学特別講義第 2」の演習として 2010 年 8 月に実施した立川市における住民調査の結果報告を行う。

首都圏郊外地域の変化はそこに暮らす住民の構成および社会生活にも多大な影響を及ぼしてきた。東京都立川市はかつて基地の街として栄え、現在にいたるまで多摩地域の中心地として発展してきた地域である。そのなかでもターミナル駅に近い住宅街である高松町・曙町地区は同じ立川市内の砂川地区などと比較すると住民の定着歴は浅いが、戦前戦後から世代を超えて暮らし続ける世帯もいる。また、戦後の首都圏郊外化のなかで立川は多摩地域の中核として人口が増加し、近年も立川駅前の再開発にともなう利便性の向上に惹かれて移り住む人々も多い。また、地域内の「シネマ通り商店街」では近年、空き店舗を活用した新しいビジネスも生まれている。

このように戦前からの歴史を引き継ぎながら現代的な諸事象が確認できる郊外地域において、住民の居住状況、近隣関係および定住意識、商業施設・商店街利用の状況、「立川生まれの若者」の動向および属性項目について尋ねる住民調査を実施した。調査結果の全体は資料 1 で示しているが、そのうち本稿では (1) 住民構成と居住状況、(2) 定住意識、(3) 地域社会との関わり、(4) 定住層の状況、(5) 新規居住者の状況について取り上げ、分析を行った。

2. 調査概要

2-1. 調査地の範囲と調査実施状況

2010 年度前期に都市環境科学研究科で開講した「都市環境科学特別講義第 2」として、立川市「シネマ通り商店街」周辺地域（立川市高松町 2 丁目の一部、高松町 3 丁目の一部、曙町 2 丁目の一部、曙町 3 丁目の一部：立川通りの東側、緑川通りの北側 図 1 参照）の住民を対象に、住まい、地域への愛着、商業施設利用、当該地区で育った若者の動向などを訪ねる郵送調査（自記式）を 2010 年 8 月に実施した。調査結果は、(1) 2010 年度後期に実施する当該地域での建築ワークショップ（「都

市環境科学特別講義第 3」の一環として実施）のための資料、(2) 2011 年度前期に実施する「都市環境科学特別講義第 2」の授業での地域調査の資料として活用した。なお、本調査は立川市個人情報保護審議会および首都大学東京研究安全倫理審査委員会の審査、承認を得て実施している。



図 1. 調査対象地域

本稿に先立ち、調査結果概要は授業実施報告書（2011 年 3 月発行、参考文献 1）に掲載した。また、2011 年 7 月に立川市現地にて住民を対象に授業報告会を実施し、そこで調査結果報告を行った。

2-2. 調査手法

立川市の住民基本台帳をサンプリング台帳として、無作為抽出による対象者のサンプリングを行い、調査票調査を実施した（サンプリングは立川市が実施）。

対象者抽出概要：

対象者：上記地区に住居票を置く 20 歳～79 歳の男女（対象総数 7,482 人）

抽出割合（平均） 26.76%

	対象者数	抽出数	抽出割合(%)
高松町2丁目	2,075	555	26.75
高松町3丁目	1,690	452	26.75
曙町2丁目	781	209	26.76
曙町3丁目	2,936	786	26.77
計	7,482	2,002	26.76
単位：人			

郵送数：2,002 通

（うち住所不明などで 32 通未達）

回収数：552 通

有効回収数：548 通

回収率：27.82%

調査時期：8月11日～8月31日

（発送 8月10日、回収締め切り 8月31日、締め切り
1週間前に督促状を送付）

調査票の配布方法および回収方法： 郵送配布・郵送回
収（往復ともクロネコメール便）

2-3. 調査対象者の偏り

都市部での郵送による住民調査においてたびたび指摘
されることがだが、本調査においても回収票に占める女性
（全体の57.3%）、高齢者層（60歳代、70歳代を合算し
て全体の37.5%）の割合が高く、若年層（20歳代）は全
体の1割以下と低い結果であった（詳細は資料1参照）。

3. 住民構成と居住状況

3-1. 前住地

前住地を尋ねた問5をみると、前住地が別の者（436人：
無回答を除く）のうち市内からの転入者は36.0%（157人、
市外からの転入者は71.3%（311人）であり、市外から
の転入者のうち東京都市部からの転入者は146人であっ
た。なお、立川市が2009年に実施した調査では東京都市
部から立川市に転入した者は市外からの転入者全体の
40.5%であった。

また、市外からの移転者311人のうち23区からの移
転者は21.9%（68人）であった。上記した立川市実施の
2009年調査では、23区からの転入者は市外からの転入
者全体の13.5%であった。

これらの結果より、以下の事項を確認した。

- （1）前住地が現住地と同一の住民は全体の9.3%である。
- （2）前住地が現住地と異なる住民のうち、最も多いのは
市内別地域からの転入者（157人）であり2番目に多い
のは東京都市部からの転入者（146人）である。
- （3）立川市全体と比較すると、市外からの転入者に占め
る東京都市部および23区からの転入者の割合がともに
高い地域である。

3-2. 出身地

問31において出身地を尋ねている。無回答を除いた
全体（544人）のうち、現住所を含む立川市出身者は
23.3%（127人）であった。最多は東京都以外の道府県
出身者48.7%（265人）であり、全体のほぼ半数を占め
ている。これらの結果から、調査対象地域の住民全体の
ほぼ4人に3人は市外出身者であると同時に、全体の2
人に1人は道府県出身者であることが確認された。

3-3. 居住年数

問4において現住地での通算居住年数を尋ねている。
選択肢のうち「2年未満」と「2年以上5年未満」を合
算し「5年未満」として、また「20年以上30年未満」
と「30年以上」を合算して「20年以上」として再集計
したものが表1である。全体（無回答1名を除く547人）
の25.4%（139人）は居住歴5年未満、40.8%（223人）
は居住歴20年以上であった。住民の4割が20年以上居
住している層であるのに対し、全体の4分の1にあたる
割合で5年未満の新規居住者がいることがわかる。調査
対象地域では近年、大型マンション建設や建て売り住宅
開発が行われており、新規居住者の流入の背景には多く
はこうした変化も指摘でいる。

また、居住年数を年代ごとに確認したところ、各年代

表1

		居住年数			
		度数	パーセント	有効パーセ ント	累積パーセ ント
有効	2年未満	81	14.8	14.8	14.8
	2～5年未満	58	10.6	10.6	25.4
	5～10年未 満	83	15.1	15.2	40.6
	10～20年未 満	102	18.6	18.6	59.2
	20～30年未 満	53	9.7	9.7	68.9
	30年以上	170	31.0	31.1	100.0
	合計	547	99.8	100.0	
欠損値	NA	1	.2		
合計		548	100.0		

表 2

居住年数 と 本人年齢 のクロス表

度数		本人年齢						合計
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	
居住年数	5年未満	32	51	21	18	12	5	139
	5～10年未	7	18	25	17	12	1	80
	10～20年未	6	9	22	31	27	7	102
	満 20年以上	5	7	19	49	72	70	222
合計		50	85	87	115	123	83	543

において一定の定着が見られることがわかった（表2）。30歳代では居住年数「5年未満」が、40歳代では「5～10年未満」、50歳代では「10～20年未満」、60歳代と70歳代では「20年以上」がいずれも居住年数の選択肢のうちで最頻値（各年代とも全体の3割程度）となっている。つまり、調査対象地域では30歳代前後の若年層が転入し、そのまま定住し続けるという状況が、住民の一定の割合において20年以上にわたって継続して行われている。

3-4. 住まいの所有状況

問2において住まいの所有状況を尋ねている。無回答6名を除いた542人のうち、66.4%（360人）が「持ち家」（含ローン）であり、また20.1%（109人）が「民間賃貸住宅」であった。

2005年に実施された国勢調査では、立川市全体において住宅に住む一般世帯のうち「持ち家」が45.9%、「民

営借家」34.7%となっており、本調査の対象地域では市内他地区と比較したときに持ち家比率が高いと同時に民間賃貸住宅比率が低いことが確認された。

4. 定住意識

問9において定住意識（意向）を尋ねている。無回答16名を除いた532人のうち80.0%（426人）が「ぜひ暮らし続けたい」もしくは「できれば暮らし続けたい」と回答しており、定住志向の高さが確認された。続く自由回答では、定住志向の理由として居住環境における利便性の高さ（交通の便がよい、商業施設・主要公共施設に近いなど）をあげる回答が多くみられた。

いっぽう、定住志向の強い回答者について親しい友人知人数（問6）、地域活動への参加（問12）との関連を確認したが、それらとの明確な関連は見いだせなかった（表3、表4）。つまり、対象地域では住民の8割が定住

表 3

知人数 と 定住希望 のクロス表

度数		定住希望				合計
		暮らし続けたい	できれば暮らし続けたい	できれば移りたい	移りたい	
知人数	いない	25	91	44	9	169
	5人未満	60	124	31	6	221
	10人未満	28	35	11	0	74
	10人以上	33	27	4	0	64
合計		146	277	90	15	528

表 4

知人なし と 定住希望 のクロス表

度数		定住希望				合計
		暮らし続けたい	できれば暮らし続けたい	できれば移りたい	移りたい	
知人なし		122	186	45	6	359
知人あり		25	91	44	9	169
合計		147	277	89	15	528

志向を持っているが、それは地域社会との関わりや住民同士の交流などに起因するというよりは利便性などに代表される居住地環境への満足によるものと考察できる。

5. 地域社会との関わり

問6において親しい友人知人数を尋ねている。無回答9名を除いた539人のうち、31.9%（172人）は地域に親しい友人知人はいないと回答している。居住年数が長くなれば友人知人の人数が増加する傾向は先行研究などでも指摘されているが、対象地域では実際には友人知人の数と居住年数との間にはさほど強い相関関係は確認できなかった。

問12において地域活動への参加状況を尋ねている。「①自治会・町内会」についてみると、無回答50人を除く498人のうち66.3%が「加入して積極的に参加している」もしくは「加入はしている」と答えており、地域活動全体のなかでもっとも加入率の高い組織となっている。「加入して積極的に参加している」と答えた層を年代別にみると、特に60歳代、70歳代で積極的な参加が確認された。

全体的に地域活動への参加がとりたてて積極的な地域とはいえないが、自治会・町内会の他には「趣味・教養・

学習のための団体・サークル」について、「加入して積極的に参加している」もしくは「加入はしている」と答えた者が無回答者を含む全体（548人）の25.7%（141人）であった。これについても60歳代、70歳代の積極的な参加が確認できた。

6. 定住層（居住歴20年以上）の状況

先述したように、対象地域の特徴のひとつは定住者層（本調査では居住歴20年以上の住民）の持ち家率の高さであるが、さらにローンの有無を確認すると居住歴20年以上の住民（220人）の80.0%（176人）がローンなしの持家であった（表5）。

居住歴20年以上の住民について世帯別にみると（表6）、無回答を除く215人のうち39.5%（85人）が「夫婦と未婚の子」、30.7%（66人）が「夫婦のみ」であった。つまり、対象地域における定住層の主流はすでにローンを払い終わった持ち家に居住している家族世帯（核家族）であり、これをライフコースでみると一部の家族ではすでに子どもが成長、他出し（「子育て期」の終了）、夫婦のみの「空の巣期」を迎えているといえる。

いっぽうで、居住歴が20年以上にわたる層のうち23

表5

居住年数 と 住まい所有状況 のクロス表

度数		住まい所有状況						合計
		持家ローンなし	持家ローンあり	民間賃貸	公営公団賃貸	社宅寮	その他	
居住年数	5年未満	15	30	63	16	12	2	138
	5～10年未満	10	27	18	24	4	0	83
	10～20年未満	28	43	17	13	0	0	101
	20年以上	176	31	11	0	0	2	220
合計		229	131	109	53	16	4	542

表6

居住年数 と 世帯 のクロス表

度数		世帯						合計
		単身	夫婦のみ	親と未婚の子	親と子ども夫婦	3世代	その他	
居住年数	5年未満	51	30	43	5	1	9	139
	5～10年未満	15	18	35	2	7	3	80
	10～20年未満	13	24	46	4	9	5	101
	20年以上	17	66	85	12	29	6	215
合計		96	138	209	23	46	23	535

区出身者の70歳代に他とは異なる特徴がみられたので触れておきたい。この層は（高齢者で年金生活であることを考慮しても）他カテゴリーと比較したときに年収の低さ（200万円未満）、学歴の低さ（中学卒）である割合と、また単身世帯である割合も高かった。特定の地域出身の特定の年代の人々に見られる傾向が、基地の街であったという地域の歴史的形成過程と関連しているかどうかは本調査で確認できるものではない。しかし、他の住民とは異なる社会的背景を有している層が一定数居住していることも本地域の特徴として考えるべきであろう。

7. 新規居住者（居住歴5年未満）の状況

居住歴5年未満の層を「新規居住者」とし、年代をみると新規居住者（無回答を除く139名）の59.7%（83名）が20歳代、30歳代であることがわかる。いっぽうで、12.2%（17人）は60歳以上であった。

住まいの所有状況との関連を確認したところ、新規居住者（無回答を除く138人）のうち半数近くにあたる45.7%（63人）は民間賃貸住宅だが、32.6%（45人）は持ち家（含ローン）に居住している。つまり、新規居住者の3割以上は持ち家を購入しており、この層は将来的な定着層と想定することができる。こうした定着予備軍に対し、民間賃貸住宅に居住する新規居住者のうち特に20歳代、30歳代については地域内に親しい友人知人もなく、地域活動とも接点を持たない。おそらく利便性などを理由にこの地域での居住を選択したと考えられ、勤務先の変更などによって転居する可能性は高い。調査地域の新規居住者は、将来的に定着の可能性が高い層と転

居の可能性が高い層にほぼ二分される。

また、新規居住者を世帯ごとにみると無回答を除く139人のうち「単身」が36.7%（51人）、「親と未婚の子」が30.9%（43人）であった。先述した定着予備軍が20歳代～30歳代の子育て世代（「親と未婚の子」）にあたり、転居の可能性が高い層が同年代の単身世帯とみなすことができる。

新規居住者について職業を確認すると（表7）、無回答を除く139人のうち47.5%（66人）が「常勤の雇用者」、22.3%（31人）が「非常勤・臨時・派遣・パート・アルバイト・在宅仕事・内職などの雇用者」であった。他方、10.1%（14人）は無職であった。高齢者の割合が高い「定住層」は別にして、他の居住歴カテゴリー「5～10年未満」「10～20年未満」と比較したとき、新規居住者において最も「無職」の割合が高い。対象人数が少ないため、詳細な分析にあたっては個別の状況を確認する必要があるが、先述した「新規居住者の1割を占める高齢者」の存在が一定程度影響しているといえよう。

8. まとめ

立川市曙町地区・高松町地区の一部について2010年に実施した郵送調査の結果のうち、本稿では、(1) 住民構成と居住状況、(2) 定住意識、(3) 地域社会との関わり、(4) 定住層の状況、(5) 新規居住者の状況について分析を行った。住民構成をみると、住民のほぼ半数が東京都以外の道府県出身であるにも関わらず前住地は市内および都内が多く、地方出身者からみれば上京後に直接流入するのではなく、他の隣接地域を経て転入する地域とし

表 7

居住年数 と 仕事 のクロス表

度数		仕事						
		経営者	常勤雇用者	非常勤パート	自営自由業	家族従業員	専業主婦	学生
居住年数	5年未満	1	66	31	8	1	14	4
	5～10年未満	7	33	15	4	1	16	0
	10～20年未満	6	37	29	5	2	13	1
	20年以上	19	31	46	17	3	38	2
合計		33	167	121	34	7	81	7

表 8

本人出身地 と 前住地 のクロス表

度数

	前住地						合計
	現住地	立川市内	23区	東京市部	その他道府県	外国	
本人出身地 現住所	46	6	1	3	8	0	64
立川市内	1	40	3	9	2	1	56
23区	0	23	24	20	10	0	77
東京市部	0	19	3	26	3	0	51
その他道府県	1	66	35	79	72	0	253
外国	0	1	2	7	1	0	11
合計	48	155	68	144	96	1	512

て位置づけられているといえる（表 8）。これは対象地域がターミナル駅に近接しており、市内他地域と比較しても民間賃貸住宅の家賃が決して安価ではないことが背景にあると指摘できる。また、立川市全体と比較したときに持ち家比率が高く、民間賃貸住宅の比率が低いことも確認された。

定住意識を問うた設問では、一様に定住意識の高さが確認された。居住年数や地域活動への参加、友人知人の有無・人数などの他変数との間に明確な相関は見出せず、地域との交流や接点がなくとも定住志向を持つ住民の多いことがわかった。自由回答とともに併せて考察すると、利便性の高さが居住環境への満足、ひいては定住志向につながっていると推察される。

地域社会との関わりについて、まず地域内での親しい友人知人の人数についてみたところ、友人知人がいないという回答が 3 割を超えた。居住年数との間に特に強い相関も見られなかった。また、地域内の諸活動についてみると、全体として特に地域活動や住民間の交流が活発な地域ではないが、60 歳代以上の高齢層において自治会・町内会や趣味のサークルなどの地域活動に積極的に参加している状況が確認された。

また、居住歴 20 年以上の定住層と居住歴 5 年未満の新規居住者についてみたとき、定住層では 8 割がローンなしの持ち家であり、新規居住者でも 3 割以上が持ち家（ローン含）を購入していた。市内他地域と比較しても持ち家比率が高い本地域では、こうした新規居住者は将来的な定住層となりうるといえよう。また、居住歴と対象者年代を併せて考察すると各年代において一定の定着が確認できる。こうしたことから、今日の対象地域は一

定数の流動層（民間賃貸住宅に居住する 20 歳代～ 30 歳代）を常に抱えながらも、比較的所得水準の高い勤労者家族世帯が住民の主流となっているといえる。他方、人口の一部には低所得の単身高齢者もあり、こうした地域課題にも今後注意を払っていく必要がある。

謝辞

本調査実施に際しては立川市民の皆様、立川市総合政策部企画政策課にご協力いただきました。深くお礼申し上げます。

参考文献

- 1) 首都大大学東京都市環境科学研究科、2011、「郊外都市横断スタディーズ」。
- 2) 立川市、「統計年報」各年版。
- 3) 立川市教育委員会、2000、『立川の生活誌 第 5 集 映画の街とその時代』。
- 4) 立川市・立川市商店街振興組合連合会、2011、「立川 まち探訪ガイド」。
- 5) 寺澤昭二・鈴木武、2010、『立川の風景 昭和色アルバム』けやき出版。

資料 1：調査票および集計結果

郊外都市住民の地域生活に関する調査

2010 年 8 月
首都大学東京 都市環境学部

I. はじめに、あなたのお住まいについてお聞きします (N=548)

該当する選択肢の番号を 1 つだけ○で囲んでください。ご不明な点があれば、余白に具体的に記入していただいても結構です。

問 1 あなたは立川市のどちらにお住まいですか。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 高松町 2 丁目 (n=124 / 22.6%) | 2. 高松町 3 丁目 (n=127 / 23.2%) |
| 3. 曙町 2 丁目 (n=62 / 11.3%) | 4. 曙町 3 丁目 (n=233 / 42.5%) |
| NA (n=2 / 0.4%) | |

問 2 あなたのお住まいの所有状況は次のうちどれにあたりますか。

1. 持ち家で、ローンは無い (n=229 / 41.8%)
 2. 持ち家で、現在ローンを支払っている (n=131 / 23.9%)
 3. 民間賃貸住宅 (n=109 / 19.9%)
 4. 公営、公団、公社の賃貸住宅 (n=53 / 9.7%)
 5. 社宅、寮、官舎など (n=16 / 2.9%)
 6. その他 (n=4 / 0.7%)
- NA (n=6 / 1.1%)

問 3 あなたのお住まいの形式は次のうちどれにあたりますか。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 一戸建て (n=276 / 50.4%) | 2. アパート (n=58 / 10.6%) |
| 3. マンション (n=191 / 34.9%) | 4. 店舗付きの住宅 (n=19 / 3.5%) |
| 5. その他 (n=0 / 0.0%) | |
| NA (n=4 / 0.7%) | |

問 4 現在の住所にお住まいになって（通算で）何年になりますか。

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 2 年未満 (n=81 / 14.8%) | 2. 2 ～ 5 年未満 (n=58 / 10.6%) |
| 3. 5 ～ 10 年未満 (n=83 / 15.1%) | 4. 10 ～ 20 年未満 (n=102 / 18.6%) |
| 5. 20 ～ 30 年未満 (n=53 / 9.7%) | 6. 30 年以上 (n=170 / 31.0%) |
| NA (n=1 / 0.2%) | |

問 5 現在の住所にお住まいになる前は、どちらにお住まいでしたか。

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 現住の住まいと変わらない (n=48 / 8.8%) | 2. 現住所以外の立川市 (n=157 / 28.6%) |
| 3. 東京 23 区 (n=68 / 12.4%) | 4. その他の東京都 (n=146 / 26.6%) |
| 5. その他の道府県 (n=96 / 17.5%) | |
| 6. 外国 (n=1 / 0.2%) | |
| NA (n=32 / 5.8%) | |

Ⅱ 次に、お住まいの地域（高松町・曙町地区）についてお聞きします（N=548）

問6 お住まいの地域であなたが日頃からなにかと頼りにし、親しくしている方は何人くらいいますか。（家族・親戚の方は除いてお答えください）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. いない（n=172 / 31.4%） | 2. 5人未満（n=226 / 41.2%） |
| 3. 10人未満（n=76 / 13.9%） | 4. 10人以上（n=65 / 11.9%） |
| NA（n=9 / 1.6%） | |

問7 その方（方々）と知り合ったきっかけは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 隣人である（n=241） | 2. 同級生・同窓生である（n=77） |
| 3. 地域の団体活動を通じて（n=142） | 4. 家族を介して（n=126） |
| 5. 仕事を通じて（n=99） | 6. その他（n=26） |
| 7. 親しくしている人はいない（n=172） | |

問8 現在、お住まいの地域についてあなたはどのようにお感じになっていますか。次のそれぞれについてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

A. 自分の住んでいる地域に誇りや愛着のようなものを感じている

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. そう思う（n=144 / 26.3%） | 2. どちらかといえばそう思う（n=202 / 36.9%） |
| 3. どちらともいえない（n=128 / 23.4%） | 4. どちらかといえばそう思わない（n=29 / 5.3%） |
| 5. そう思わない（n=37 / 6.8%） | |
| NA（n=8 / 1.5%） | |

B. 人からこの地域の悪口を言われたら、自分の悪口を言われたような気持ちになる

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. そう思う（n=77 / 14.1%） | 2. どちらかといえばそう思う（n=201 / 36.7%） |
| 3. どちらともいえない（n=144 / 26.3%） | 4. どちらかといえばそう思わない（n=27 / 4.9%） |
| 5. そう思わない（n=92 / 16.8%） | |
| NA（n=7 / 1.3%） | |

C. この地域のためになにか役立つことがしたい

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. そう思う（n=93 / 17.0%） | 2. どちらかといえばそう思う（n=218 / 39.8%） |
| 3. どちらともいえない（n=164 / 29.9%） | 4. どちらかといえばそう思わない（n=27 / 4.9%） |
| 5. そう思わない（n=34 / 6.2%） | |
| NA（n=12 / 2.2%） | |

D. この地域に住んでいる人は、お互いになにかと助け合って生活している

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. そう思う（n=60 / 10.9%） | 2. どちらかといえばそう思う（n=183 / 33.4%） |
| 3. どちらともいえない（n=208 / 38.0%） | 4. どちらかといえばそう思わない（n=46 / 8.4%） |
| 5. そう思わない（n=41 / 7.5%） | |
| NA（n=10 / 1.8%） | |

問9 現在お住まいの地域にこれからもずっと暮らし続けたいとお考えですか。

1. ぜひ暮らし続けたい (n=147 / 26.8%)
2. できれば暮らし続けたい (n=279 / 50.9%)
3. できればよそに移りたい (n=91 / 16.6%)
4. ぜひよそに移りたい (n=15 / 2.7%)

NA (n=16 / 2.9%)

問10 その理由を教えてください。

問11 今後、現在お住まいの地域で暮らし続けていくために必要だと思われるものを、次のうちから1つだけ選んで○をつけてください。

1. 子育て関連の施設 (n=59 / 10.8%)
2. 高齢者関連の施設 (n=165 / 30.1%)
3. 買い物が便利に出来る場所 (n=85 / 15.5%)
4. 教育機関 (n=5 / 0.9%)
5. 働くことができる職場 (n=38 / 6.9%)
6. 適切な家賃の住宅 (n=62 / 11.3%)
7. その他の施設 (n=17 / 3.1%)
8. 特になし (n=95 / 17.3%)

NA (n=22 / 4.0%)

問12 あなたは次にあげる団体や組織に参加していますか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	に参加 加入 して て積 い極 る的	加入 は して いて る	加入 し て い ない	NA	
①自治会・町内会	81(14.8%)	249(45.4%)	168(30.7%)	50(9.1%)	548(100.0%)
②労働組合	4(0.7%)	57(10.4%)	344(62.8%)	143(26.1%)	548(100.0%)
③同業者組合・商店会・商工会	13(2.4%)	31(5.7%)	359(65.5%)	145(26.5%)	548(100.0%)
④政党・政治家の後援会	8(1.5%)	34(6.2%)	364(66.4%)	142(25.9%)	548(100.0%)
⑤生協などの消費者団体	14(2.6%)	80(14.6%)	316(57.7%)	138(25.2%)	548(100.0%)
⑥学校のPTAや父母会	19(3.5%)	46(8.4%)	337(61.5%)	146(26.6%)	548(100.0%)
⑦趣味・教養・学習のための団体・サークル	72(13.1%)	69(12.6%)	281(51.3%)	126(23.0%)	548(100.0%)
⑧宗教や信仰に関する団体・サークル	15(2.7%)	28(5.1%)	365(66.6%)	140(25.5%)	548(100.0%)
⑨ボランティア団体	23(4.2%)	14(2.6%)	369(67.3%)	142(25.9%)	548(100.0%)
⑩その他	5(0.9%)	4(0.7%)	125(22.8%)	414(75.5%)	548(100.0%)

Ⅲ 次に、立川での商業施設の利用などについてお聞きします (N=548)

問 13 あなたは普段、食料品をどこで買うことが多いですか。もっとも利用するところを 1つだけ選んで○をつけてください。(宅配サービスを除く)

1. 高松町商店街 (n=11 / 2.0%)
2. シネマ通り商店街 (n=3 / 0.5%)
3. ダイエー立川店 (n=180 / 32.8%)
4. オリピック国立店 (n=28 / 5.1%)
5. いなげや立川栄町店 (n=110 / 20.1%)
6. 立川駅に隣接する商業施設 (ルミネ・グランデュオ・伊勢丹・高島屋) (n=167 / 30.5%)
7. その他 (n=36 / 6.6%)
- NA (n=13 / 2.4%)

問 14 あなたは普段、外出用の衣類をどこで買うことが多いですか。もっとも利用するところを 1つだけ選んで○をつけてください。(通信販売を除く)

1. 高松町商店街 (n=6 / 1.1%)
2. 立川駅に隣接する商業施設 (ルミネ・グランデュオ・伊勢丹・高島屋) (n=365 / 66.6%)
3. その他の立川市内 (n=84 / 15.3%)
4. 吉祥寺 (n=5 / 0.9%)
5. 新宿 (n=12 / 2.2%)
6. その他の東京 23 区 (n=19 / 3.5%)
7. その他の東京都 (n=41 / 7.5%)
8. 東京都以外 (n=3 / 0.5%)
- NA (n=13 / 2.4%)

問 15 シネマ通り商店街の店舗の利用頻度はどのくらいですか。配達による利用を除いてお答えください。

1. ほぼ毎日利用している (n=5 / 0.9%)
2. 週に数回利用している (n=42 / 7.7%)
3. 月に数回利用している (n=81 / 14.8%)
4. 年に数回利用している (n=95 / 17.3%)
5. 以前は利用していたが、現在は利用していない (n=81 / 14.8%)
6. 知ってはいるが、利用したことがない (n=214 / 39.1%)
7. シネマ通り商店街を知らない (n=27 / 4.9%)
- NA (n=3 / 0.5%)

問 16 シネマ通り商店街についてどのような印象をお持ちですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 昔からの商店が多い (n=266) | 2. 飲食店が多い (n=94) |
| 3. 通りが心地よい (n=19) | 4. 生け垣や花など自然が多い (n=82) |
| 5. 「商店街ならではの」の交流がみられる (n=47) | 6. 近道として便利 (n=191) |
| 7. 夜になると通りにくい (n=143) | 8. その他 (n=52) |

9. 特にない・わからない (n=106)

NA (n=8)

問 17 あなたは日頃、あまりお金を使わずに過ごせる場所がありますか。次のうちからもっともよく行く場所を 1 つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. お住まいの近隣住宅地内 (n=27 / 4.9%) | 2. 高松町商店街 (n=4 / 0.7%) |
| 3. 立川駅北口周辺 (n=136 / 24.8%) | 4. フェーレ立川地区 (n=47 / 8.6%) |
| 5. 昭和記念公園 (n=124 / 22.6%) | 6. 立川駅南口周辺 (n=4 / 0.7%) |
| 7. 多摩川河畔 (n=12 / 2.2%) | 8. その他 (n=27 / 4.9%) |
| 9. 特にない (n=156 / 28.5%) | |
| NA (n=11 / 2.0%) | |

問 18 あなたが「もっとも立川らしい」と思う場所、もしくは思い入れのある場所はどこですか。理由も合わせてお書きください。

問 19 あなたは立川市とその周辺地域を主な放送エリアとするコミュニティ FM 局の「エフエムラジオ立川」(FM たちかわ)をご存知ですか。

1. 普段からよく聞いている (n=14 / 2.6%)
 2. 知っていて実際にラジオを聞いたことがある (n=47 / 8.6%)
 3. 知ってはいるが聞いたことはない (n=187 / 34.1%)
 4. 知らない (n=295 / 53.8%)
- NA (n=5 / 0.9%)

IV 次に、あなた以外の「立川で育った若者」についてお聞きします

本調査でいう「立川で育った若者」とは、「18 歳まで (小学校、中学校、高校) の内に立川に居住したことのあ
る人」を指します。現在 18 歳～39 歳までのあなたのご家族 (夫・妻、兄弟姉妹、子ども、孫など) の「立川で育
った若者」のうち、もっとも年長の方について、ご存じの範囲で以下の現況をお教え下さい。

該当者がいらっしゃらない場合は問 29 にお進み下さい。

問 20 その方はあなたからみてどなたにあたりますか。(N=221)

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. あなたの夫もしくは妻 (n=10 / 4.5%) | 2. あなたの兄弟姉妹 (n=28 / 12.7%) |
| 3. あなたの子ども (n=162 / 73.3%) | 4. あなたの孫 (n=8 / 3.6%) |
| 5. その他 (n=13 / 5.9%) | |

問 21 その方の性別を教えてください。(N=217)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 男 (n=107 / 49.3%) | 2. 女 (n=110 / 50.7%) |
|----------------------|----------------------|

問 22 その方のお歳は次のうちどれにあたりますか。(N=221)

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 1. 18 ～ 29 歳 (n=98 / 44.3%) | 2. 30 ～ 39 歳 (n=123 / 55.7%) |
|-----------------------------|------------------------------|

問 23 あなたとその方はどれくらいの頻度で顔をあわせますか。(N=220)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. ほぼ毎日 (n=114 / 51.8%) | 2. 1 週間に数回程度 (n=22 / 10.0%) |
| 3. 1 ヶ月に数回程度 (n=41 / 18.6%) | 4. 1 年に数回程度 (n=41 / 18.6%) |
| 5. 数年に 1 回程度 (n=2 / 0.9%) | 6. 顔をあわせることはない (n=0 / 0.0%) |

問 24 その方の現在のお仕事は次のうちどれにあたりますか。(N=217)

1. 経営者（重役）・役員 (n=3 / 1.4%)
2. 常勤の雇用者 (n=104 / 47.9%)
3. 非常勤・臨時・派遣・パート・アルバイト・在宅仕事・内職などの雇用者 (n=33 / 15.2%)
4. 自営業主・自由業 (n=12 / 5.5%)
5. 家族従業員 (n=0 / 0.0%)
6. 専業主婦 (n=25 / 11.5%)
7. 学生 (n=35 / 16.1%)
8. 無職 (n=4 / 1.8%)
9. 知らない・わからない (n=1 / 0.5%)

問 25 その方の現在のご住所は次のうちどれにあたりますか。(n=220)

- | | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| 1. 同じ家（同居）(n=105 / 47.7%) | 2. 同じ敷地内に建つ別の家 (n=6 / 2.7%) |
| 3. 高松町・曙町 (n=23 / 10.5%) | 4. 立川市内（高松町・曙町を除く）(n=26 / 11.8%) |
| 5. 東京 23 区 (n=17 / 7.7%) | 6. その他の東京都 (n=17 / 7.7%) |
| 7. 千葉・埼玉・神奈川県 (n=11 / 5.0%) | 8. その他 (n=14 / 6.4%) |
| 9. 知らない・わからない (n=1 / 0.5%) | |

問 26 その方の現在のお住まいは次のうちどれにあたりますか。(N=222)

1. 一戸建て持ち家 (n=112 / 50.5%)
2. 一戸建ての借家 (n=6 / 2.7%)
3. 分譲のマンション（UR を含む）(n=29 / 13.1%)
4. 賃貸のマンション・アパート（UR を含む）(n=55 / 24.8%)
5. 公営住宅（都営・市営など）(n=6 / 2.7%)
6. 社宅、寮、公務員住宅など (n=9 / 4.1%)
7. その他 (n=4 / 1.8%)
8. 知らない・わからない (n=1 / 0.5%)

問 27 その方は近い将来（5～10 年後）、どこにお住まいだと思いますか。もっともあてはまるものを 1 つだけ選んで○をつけてください。(N=223)

1. 立川に居住するだろう (n=103 / 46.2%)
2. 立川には居住しないだろう (n=40 / 17.9%)
3. わからない (n=80 / 35.9%)

その理由を差し支えない範囲でお教えてください。

問 28 その方が近い将来（5～10年後）に立川に居住するためにもっとも必要だと思うものを、1つだけ選んで
○をつけてください。（N=213）

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. 子育て関連の施設（n=49 / 23.0%） | 2. 老人者関連の施設（n=11 / 5.2%） |
| 3. 買い物ができる場所（n=13 / 6.1%） | 4. 教育機関（n=4 / 1.9%） |
| 5. 働くことができる職場（n=41 / 19.2%） | 6. 適切な家賃の住宅（n=19 / 8.9%） |
| 7. その他の施設（n=4 / 1.9%） | 8. 特になし（n=28 / 13.1%） |
| 9. 何があっても居住しない（n=5 / 2.3%） | 10. わからない（n=39 / 18.3%） |

V 最後に、あなたご自身についてお聞きします（N=548）

問 29 あなたの性別を教えてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 男（n=231 / 42.2%） | 2. 女（n=314 / 57.3%） |
|---------------------|---------------------|
- NA（n=3 / 0.5%）

問 30 あなたのお歳は次のうちどれにあたりますか。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 20～29歳（n=50 / 9.1%） | 2. 30～39歳（n=85 / 15.5%） |
| 3. 40～49歳（n=88 / 16.1%） | 4. 50～59歳（n=115 / 21.0%） |
| 5. 60～69歳（n=123 / 22.4%） | |
| 6. 70～79歳（n=83 / 15.1%） | |
- NA（n=4 / 0.7%）

問 31 あなたはどこでお生まれになりましたか。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 現住所（n=66 / 12.0%） | 2. 現住所以外の立川市（n=61 / 11.1%） |
| 3. 東京23区（n=82 / 15.0%） | 4. その他の東京都（n=59 / 10.8%） |
| 5. その他の道府県（n=265 / 48.4%） | 6. 外国（n=11 / 2.0%） |
- NA（n=4 / 0.7%）

問 32 あなたは現在、結婚されていますか。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 既婚（n=365 / 66.6%） | 2. 未婚（n=130 / 23.7%） |
| 3. 離死別（n=49 / 8.9%） | |
- NA（n=4 / 0.7%）

問 33 あなたの現在のお仕事は次のうちどれにあたりますか。

- | |
|-----------------------------------------------------|
| 1. 経営者（重役）・役員（n=34 / 6.2%） |
| 2. 常勤の雇用者（n=167 / 30.5%） |
| 3. 非常勤・臨時・派遣・パート・アルバイト・在宅仕事・内職などの雇用者（n=121 / 22.1%） |
| 4. 自営業主・自由業（n=34 / 6.2%） |
| 5. 家族従業員（n=7 / 1.3%） |
| 6. 専業主婦（n=81 / 14.8%） |
| 7. 学生（n=7 / 1.3%） |
| 8. 無職（n=90 / 16.4%） |

NA (n=7 / 1.3%)

問 34 あなたの現在の勤務先・通学先はどちらですか。

1. 高松町・曙町（自宅を含む）(n=89 / 16.2%)
2. それ以外の立川市内 (n=61 / 11.1%)
3. 東京 23 区 (n=83 / 15.1%)
4. その他の東京都 (n=123 / 22.4%)
5. 神奈川・千葉・埼玉県 (n=15 / 2.7%)
6. その他 (n=2 / 0.4%)
7. 勤務先・通学先はない (n=171 / 31.2%)

NA (n=4 / 0.7%)

問 35 現在、あなたが同居されている方はあなたご自身も含めて何人ですか。あてはまる数字を以下にお書きください。

同居人数

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1人	96	17.5	17.5	17.5
2人	182	33.2	33.2	50.7
3人	120	21.9	21.9	72.6
4人	89	16.2	16.2	88.9
5人	30	5.5	5.5	94.3
6人	14	2.6	2.6	96.9
7人以上	7	1.3	1.3	98.2
NA	10	1.8	1.8	100.0
合計	548	100.0	100.0	

問 36 あなたの世帯（現在同居されている方々とあなた自身）は次のうちどれにもっとも近いですか。

1. 単身（ひとり暮らし）(n=96 / 17.5%)
2. 夫婦のみ (n=138 / 25.2%)
3. 親と未婚の子ども (n=209 / 38.1%)
4. 親と子ども夫婦のみ (n=24 / 4.4%)
5. 三世帯（祖父母、親、子ども）(n=46 / 8.4%)
6. その他 (n=23 / 4.2%)

NA (n=12 / 2.2%)

問 37 あなたが最後にお出になった学校は次のうちどれですか。在学中の方は現在通っている学校をお答えください。

1. 中等学校（旧制高等小学校を含む）(n=34 / 6.2%)
2. 高等学校（旧制中学を含む）(n=168 / 30.7%)
3. 予備校 (n=1 / 0.2%)
4. 短大・高専・専門学校（旧制高校を含む）(n=140 / 25.5%)
5. 大学（大学院を含む）(n=193 / 35.2%)

NA (n=12 / 2.2%)

問 38 あなたの世帯全体で年間だいたいどれくらいの収入がありますか。次のうちからあてはまるものを1つだけ選んでください（税込の額でお答えください）。

ひとり暮らしの学生の方は、仕送り・アルバイト収入などの総額でお答えください。

1. 200 万円未満 (n=43 / 7.8%)
2. 200 万～400 万円未満 (n=117 / 21.4%)

3. 400 万～ 600 万円未満 (n=124 / 22.6%) 4. 600 万～ 1000 万円未満 (n=153 / 27.9%)
5. 1000 万円以上 (n=76 / 13.9%)
NA (n=35 / 6.4%)

質問は以上で終わります
ご協力ありがとうございました